

真空コンクリート

防滑性の優れた床

打設した生コンクリートの表面に真空マットを敷き込み、
生コンクリートの余分な水分(余乗水)を脱水することで締め固まった
高強度のコンクリートに仕上がります。

特 徴

■ 短工期施工

- ・約150～200㎡／日と広範囲の施工可能
- ・水分を取り除くことにより初期強度の向上で養生短縮

■ 安全性の向上

- ・高耐久性に加えリングと刷毛引きすることで、滑り抵抗性も向上

■ 高い耐久性

- ・乾燥収縮によるひび割れ防止策として有効
- ・耐摩耗性が優れている

■ 低コスト

- ・短工期に加え高い耐久性により経年後のメンテナンス費を含めたトータルコストの低減

施工関連

■ 生コン配合

- ・強度 21N／mm²～24N／mm²

■ 施工適用箇所

- ・急勾配(スロープ)等の車路
- ・養生期間の短縮が要求される箇所

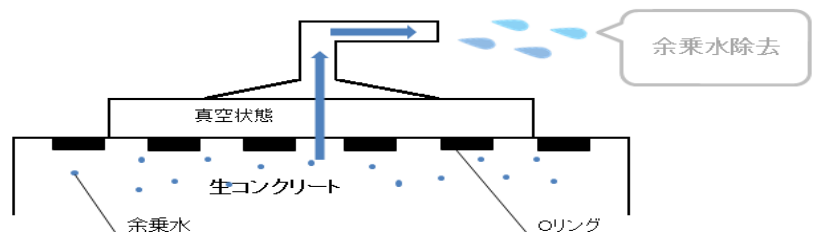
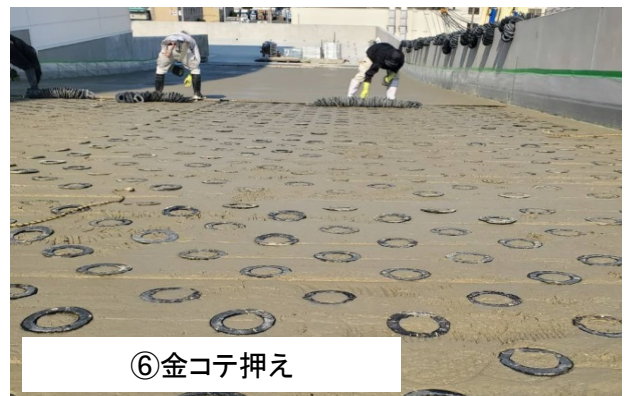
■ 真空脱水時間

- ・深さ方向1cmにつき、1～2分脱水時間(スランプ12～15cm) 季節・勾配等の打設条件により異なる。



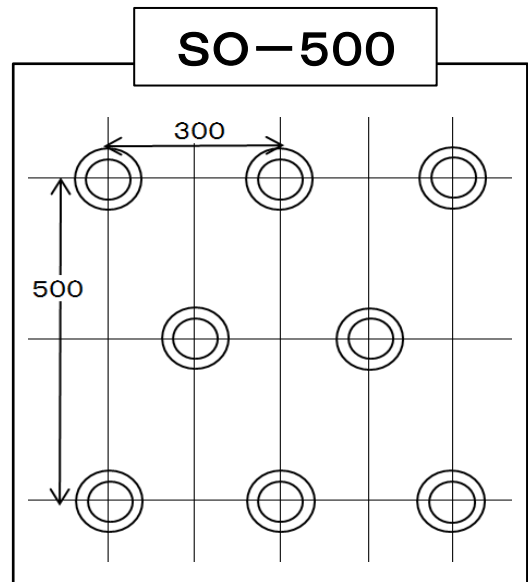
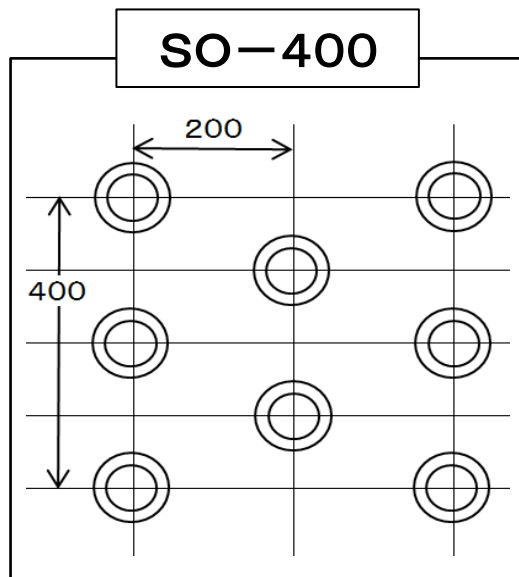
真空コンクリート施工プロセス

- ① 生コンクリート打設
(レベル出し)
- ↓
- ② オリング敷設
- ↓
- ③ オリング埋め込み
- ↓
- ④ サクションマット敷き込み
(真空処理)
- ↓
- ⑤ トローウェル不陸調整
- ↓
- ⑥ 金コテ押え
(生コン表面調整)
- ↓
- ⑦ 刷毛引き仕上げ
(ノンスリップ)
- ↓
- ⑧ オリング抜き取り
- ↓
- ⑨ 完成

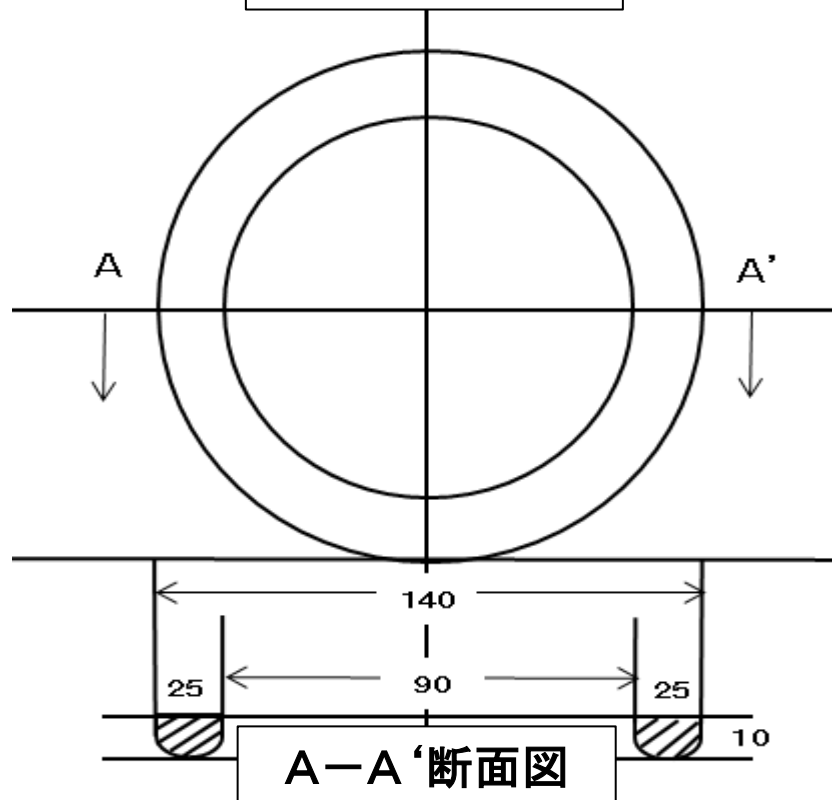


リング配置図

※ピッチは400mmと500mmの2種類となります。



リング寸法図



真空コンクリート施工例

